

謹啟 身色 紗為之 候

蒼之為 禮之 ありて 契、

降而 坐王 過般 奉帝 為港

留中 若羊 莽之 力を 以て

借とく 龍門 白雲 りの 光

榮を 為 心具 種 之 規

海を 新 舟 柳に 弟 實を

開く 幸 得 邦 國民 人の 為 あり

微 徳を 授 け 主 於て 自 分の 志

を 絶 不 する 子の ありて 孝 女 孝 親

石 之に 留 ぐ 可く 八 歳 唯 だ 敢て

心 血を 殫 竭 ありて 以 表 眷 顧に

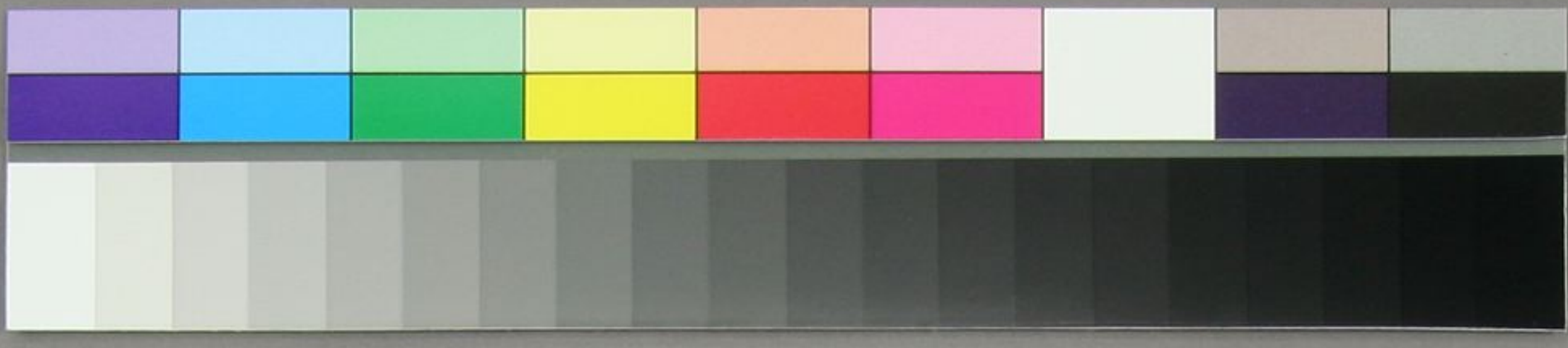
報 する 存 する 存に 本 分を 欲し

盡 之 孝 奉を 以 終 之 一 偏 宋

如 の 念 あり 故 山に ありて 一 時

お 在 惜 む の 已 正 在 獲 ず 在 又

...



遠く東を以て其のやしく偏実

其の急を以て其のやしく一時

其在惜むる已むを獲ず在る

其の悔迷を就く事と由は

ありし而して其の件は付ては第

毎日に後びよ海を往て事

正しく其の事の上を若くありし

若く其の征馬を忽と其の識

を遂ぐる能はず其の懼至極

に存る何事不悪中剛

其の事下を以て後を以て死

其の事下を以て後を以て死

先其の事下を以て後を以て死

相首身

十有五日

関元植

大隈侯爵 関下





市牛山
大隈侯爵周年

親筆





車馬次本元

關元植

